大津市下水道50年のあゆみ

～未来へつなげる水のみち～

「未来に伝える下水道絵画」最優秀作品

事業着手50周年

50周年を迎えて

大津市長　　越　直美

大津市下水道の事業着手50周年を迎え、一言ごあいさつを申し上げます。

下水道は、公衆衛生の向上、浸水被害の解消などといった市民の皆様が生活を営むうえで、大切な役割を担っており、また、滋賀県においては、近畿の水がめである琵琶湖の水質保全のためにも、大変重要な役割を果たしています。

大津市では、市民の皆様の生活における安全性や利便性の向上を図るため、これまで下水道整備の推進に努めてまいりました。

私は、大津市が抱える課題を解決するため、特に重点的に取り組んでいく項目を、5つのスマイルプロジェクトとしてマニフェストに掲げ、市民の皆様が安心して住み続けられるまちづくりを目指しております。

住みよい大津市を創るためには、まず、ライフラインの安定、都市基盤整備の充実が重要であり、上下水の安定的な供給、処理を図ることが必要不可欠であると考えます。

本市の下水道は、県内の市町村のトップを切って、昭和37年に市中央部の旧市街地から事業着手して以来、積極的に整備に取り組んできた結果、下水道人口普及率96.8％（平成24年3月末現在）という滋賀県や全国平均を大きく上回る整備状況となっています。そして半世紀を経た今日に至るまで、生活環境の改善や浸水の防除、さらに、市民はもとより、県民、国民の財産である琵琶湖の水環境保全のため、非常に重要な都市基盤施設として大きな役割を果たしてきました。

しかしながら一方で、下水道整備の進展に伴い増大した施設の老朽化が進むほか、大規模災害への対策も求められてきており、計画的な施設改修や耐震化事業にも積極的に取り組んでおります。また、平成22年4月には、一層の事業充実に向けて、下水道事業に公営企業法を全部適用の上、企業局へ組織統合いたしました。

この様に、50周年という節目と時を同じくして、本市の下水道事業は「建設の時代」から「管理の時代」へと大きな転換期を迎えるなか、市民の皆様が安全かつ快適な生活を営む上で欠かすことのできない大切な下水道施設を次の世代に引き継ぎ、また、循環型社会を構築するため、下水道事業の更なる推進と健全な経営に努めてまいりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成24年9月

目　　次

はじめに

・大津市の概要 …… 2
・大津市の歴史 …… 3
・大津市の変遷 …… 5

第１章　下水道事業の変遷

・下水道事業の変遷 …… 8
・下水道の整備状況 …… 16
・施設の整備状況 …… 19
・大津の下水処理 …… 20

第２章　大津市下水道の紹介

・これからの下水道事業 …… 22
・浸水対策 …… 23
・地震対策 …… 24
・長寿命化対策 …… 25
・合流式下水道の改善 …… 26
・水質浄化事業 …… 28

第３章　お客様とのふれあい

・下水道事業のPR活動 …… 30
・絵画展応募作品 …… 33
・投稿写真一覧 …… 35

その他関連資料

・関連資料集 …… 38